

1 調査日 令和4年7月14日（木）

2 調査の概要

（1）近江鉄道株式会社（彦根市駅東町）

地域公共交通は、地域住民の生活や産業を支える社会基盤として大切な役割を担っているが、近年、人口減少や新型コロナウイルスの影響による利用者の減少などを受け、その維持が課題となってきている。

近江鉄道株式会社は、明治29年（1896年）に設立されて以降、鉄道事業をはじめとして、バスやタクシー事業などに携わり、県民の生活の基盤となる県内の公共交通を広く支えてこられた。

については、今後の委員会活動の参考とするため、近江鉄道株式会社を訪問し、県内の地域公共交通全般の現状と地域公共交通事業者としての取組等について調査を行った。



（2）県立能登川高等学校（東近江市伊庭町）

本県では、2025年に開催予定の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けて、少年種別の競技力向上を図るため、高校の部活動単位での強化が有効と考えられる競技については、平成29年度より特定の高校を強化拠点校として指定し、集中的に競技力の向上を図っている。

そのような中で、県内唯一のボクシング部を有する能登川高等学校は、令和元年度からボクシングの強化拠点校に指定されており、選手の育成に取り組んでいるところである。

については、今後の委員会活動の参考とするため、能登川高等学校を訪問し、大会に向けた競技力の向上と育成環境について調査を行った。

